

# 高梁市議会だより

第59号  
2024年8月



2度目の議員辞職勧告決議案を可決

再び休館  
ラ・フォーレ吹屋

トピックス

高梁市議会だより

2024年8月

「ご意見はこちらまで」■高梁市議会事務局 高梁市松原通2043 ☎0866-21-0277

発行 高梁市議会



## 9月の定例会スケジュール

8/21	水	本会議（議案の上程）
27	火	本会議（一般質問）
28	水	本会議（一般質問）
29	木	本会議（一般質問）
9/2	月	本会議（議案質疑）
3	火	委員会
4	水	委員会
5	木	委員会
10	火	本会議（採決）

※9月定例会への請願・陳情の締め切りは8月15日（木）までです。

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

**政治家の寄付は禁止！  
有権者が求めることも  
禁止されています！**

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



### 編集

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	委員	委員
平松久幸	新倉淳	伊藤泰樹	森上昌生	石井聡美	石部誠	金尾恭士	森和之		

議会広報公聴特別委員会



## 投票に行こう!!

声かけあって

9月29日（日曜日）は  
高梁市長・高梁市議会議員選挙の投票日です

日々の生活に一番身近な選挙が市長・市議会議員選挙です。  
9月29日（日）は高梁市長選挙と高梁市議会議員選挙の投票日です。今回から議員定数が2人減り、16名になります。  
投票は、重要な権利であり、住民が市政に参加するための貴重な手段です。あなたの一票を無駄にすることなく、未来の高梁市のために投じてください。  
投票に行くことは、市政に興味を持つきっかけにもなります。  
投票に、行きましょう！

投票に行こう!!

### あとかき

今号の表紙

岡山県立高梁城南高等学校

高梁城南高校電気科のプログラミング授業の様子です。城南高校は令和5年度から、地域みらい留学受け入れ高校として生徒を全国から募集しています。個性あふれる3つの学科の特色を生かして地域と連携し、まちづくりに参加しながら、学科の専門力を身につけて就職、進学の夢を叶えます。

高梁市議会基本条例第15条に「議員は、市民全体の代表者として、その倫理性を常に自覚し、良心と責任感を持って、議員の品位を保持し、識見を養うように努めなければならない」とあります。  
至極当たり前のことが書いてはありますが、言うは易く行は難し。日々、自分に置き換えた時、ちゃんとできているだろうか自問自答します。

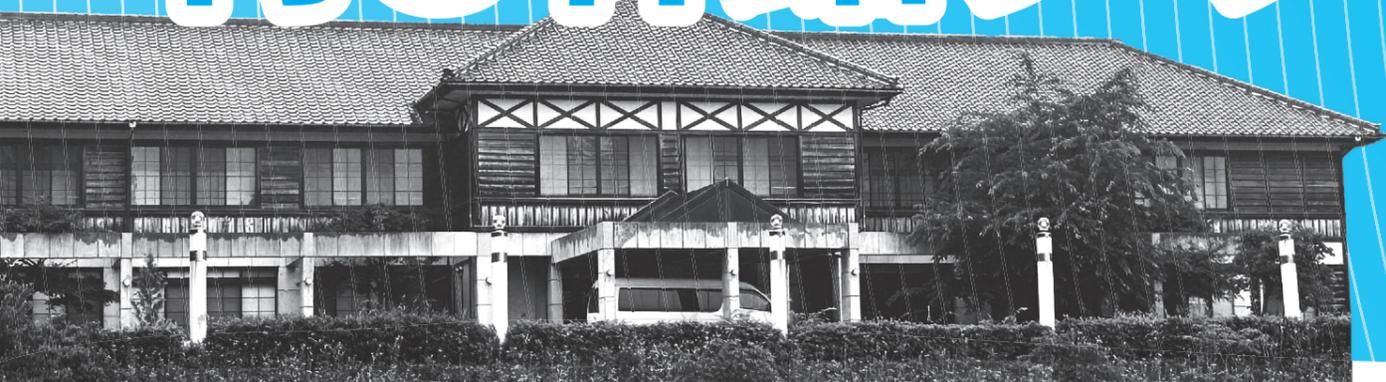
特に議場では、言葉による質疑応答が全てだからこそ、時として言葉の威力を強く感じることもあります。注意しなければいけません。  
さて、議会だよりでここまで伝えられているかは分かりませんが、今後とも委員長以下、議会の見える化に尽力してまいりますので、ご期待ください。

（伊藤泰樹）

# 再び休館ラ・フォーレ吹屋

## 日本遺産の宿泊施設として再開への道は

### トピックス



#### 指定管理者の事業譲渡で再び休館に――

令和6年6月定例会冒頭、市長から、ラ・フォーレ吹屋の指定管理者が期間満了を待つことなく協定を解除する旨が伝えられました。現在の指定管理者になって、昨年7月下旬の営業を再開してから1年に満たない時期での発表となり、複数の議員が責任の所在や今後について質問を行いました。

「指定管理」は、民間業者やNPOなどを管理者に指定し、施設管理を委任する制度です。民間のノウハウを生かして、経費を削減しつつ質の高いサービスが期待できる一方、議会から運営状況が見えにくいなどの問題点もあります。この記事では、議会で質疑された内容を中心に紹介します。

#### 令和5年に指定管理者を交代

令和4年12月定例会で、ラ・フォーレ吹屋など2施設の新たな指定管理者として、株式会社下電ホテルと天満屋グループの広告代理店、株式会社ティ・シー・シーとの共同事業体が指定されました。

当時、議会に対しては詳細な説明や資料がなく、各議員から「下電ホテルの経営状況を把握しているのか」、「前指定管理者に対する配慮が欠けているのではないか」といった質

#### 令和5年7月に営業を再開

疑が相次ぎました。執行部は、「選定に問題は無い」、「日本遺産認定、旧吹屋小学校オープンによって吹屋の観光や来客環境が大きく変化した。指定管理者選定の原則に基づいて公募・選定した」との答弁を繰り返しました。

令和4年9月に指定管理者の公募を行った市は選定審議会委員6名（日本観光振興協会、トヨタレンタリース岡山、岡山空港ターミナル、JR西日本、岡山県観光連盟、市議会代表）を指名し、管理能力や誘客戦略などのチェックを行い、申し込みのあった2社の審査結果を発表しました。その結果、下電ホテルなどの共同事業体は1

39点、前指定管理者の株式会社ラ・フォーレ吹屋は123.7点となり、全員一致で下電ホテルなどの共同事業体が指定管理者に選定されました。

共同事業体は「令和5年4月からの営業再開に向けて努力する」としていました。大浴場や調理場の改修などに、高梁市は2300万円を投入して修理しました。また、従業員は地元雇用を条件に募集しましたが、確保できない状況もあり、オープンは令和5年7月25日になりました。しかし防火管理者不在、防災計画未提出の問題なども発覚しました。令和5年11月頃からは、ランチが3日前までの予約制になるなど、当初から苦しい経営状況がうかがえました。

吹屋には、観光協会吹屋支部や店主会などがあります。これらの団体は、観光客誘客、吹屋地区の清掃活動にも協力しており、ラ・フォーレ吹屋周辺の草刈りや樹木伐採をボランティアで行っています。しかし、共同事業体は、地域との一体感がない状況でした。

#### 今後の指定管理制度に注目

下電ホテルは倉敷市の「鷲羽山レストハウス」の指定管理者でもありました。倉敷市と下電ホテルとの協定では、閉業時の解約金の記述があり、中途の協定解除では、約6000万円の解約金が発生することになるため、買収会社に残り期間の指定管理を委任することになったとのことでした。高梁市は協定の中で解約金に関する規定を定めていませんでした。

令和6年6月定例会では、議員から市民や吹屋地区の皆さんに市長や担当職員、下電ホテルなどの共同事業体からの休館に至った経緯等の説明を求めましたが、行われていません。今回の事業売却について、下電ホテルは1800万円の赤字が出たこと、前指定管理者からの引き継ぎがなかったこと、職員の採用ができなかったこと

#### ラ・フォーレ吹屋の歴史

平成5年(1993年)

旧成羽町が廃校となった吹屋中学校の跡地に第三セクターの農林漁業体験実習館として設立。

平成11年(1999年)

管理運営方式を、民間への業務委託に変更。

令和4年(2022年)10月

指定管理者を2社が争い、新しい指定管理者が指定される。

令和5年(2023年)1月

前指定管理者が撤退して、営業を休止。

令和5年(2023年)7月

新指定管理者が営業を再開。

令和6年(2024年)6月

下電ホテルのホテル事業譲渡。営業を休止。



# 2度目の議員辞職勧告決議案を可決

令和6年第3回高梁市定例会では、市長提出の議案等12件のうち6件について報告を受け、1件を承認とし、残り5件を原案のとおり可決しました。併せて、追加提出された工事請負契約に係る議案1件を原案のとおり可決。団体から議会に寄せられた請願1件を不採択としました。また、議員発議の乙議案として川上修一議員に対する議員辞職勧告決議案が提出され、原案のとおり可決しました。



## ■総務文教委員会

総務文教委員会では議案4件、請願1件の計5件を審査し、議案は全員一致で可決しました。

請願「少人数学級の拡充及び教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について」は、賛成反対の討論もあり意見が大きく分かれましたが不採択となりました。

川上修一議員に対する議員辞職勧告決議  
川上修一議員が銃刀法違反などに問われた刑事裁判において、令和5年11月28日に有罪判決と罰金50万円が確定しました。

これは令和3年に有害鳥獣駆除以外の目的でライフル銃の発射をしたとして、銃刀法および火薬類取締法に抵触し在宅起訴されていた事案です。川上修一議員は、有害鳥獣駆除のための活動であり法令遵守との認識により係争していませんが、有罪判決が確定しました。

議員有志からは、有罪判決の確定を議会に報告も行わず、議員活動の継続は問題があるとして、2度目の議員辞職勧告決議案が提出され、乙議案として上程されました。



広瀬地区緊急避難施設と兼用になる備中広瀬駅舎

## ■産業経済委員会

産業経済委員会では議案3件を審査しました。「令和6年度高梁市一般会計補正予算(第2号)」では委員から、観光DMOの体制強化のために地域活性化企業人派遣事業を上手に活用し、市の産業の発展へつな

市民生活委員会では議案3件を審査しました。「専決処分の承認を求めることについて」については承認すべきものと決し、議案第59号「高梁市病院・診療所等使用料及び手数料条例の一部を改正する条例」、議案第60号「令和6年度高梁市一般会計補正予算(第2号)」については全員一致で可決しました。

議員有志からは、有罪判決の確定を議会に報告も行わず、議員活動の継続は問題があるとして、2度目の議員辞職勧告決議案が提出され、乙議案として上程されました。

決議案では、公職である市議会議員が裁判において有罪判決を受け、さらにその判決が確定したという事実は、高梁市議会基本条例第15条に抵触し、市民からの信用を著しく失墜させ、高梁市議会の名誉と品位を著しく損なわせた。市議会議員としての政治的、道義的責任を免れず、議員の職にとどまることは許されるものではない。事態の大きさを真摯に受け止め、速やかにその職を辞することを求めるものでした。

## 討論

石部 誠議員

議案第56号専決第3号、国保税条例改正。国保税の課税限度額の引き上げで27世帯が該当し全体で54万円の増税になる。従前に「国保の約5億6000万円の基金活用で数年間は増税をしなくても済む」との説明に離反する増税案に反対する。

金尾 恭士議員

議案第60号について反対とし、その他の議案には賛成する。議案第60号は一般会計補正予算である。そのうち地域活性化企業人派遣負担金については、CCC(カルチュア・コンビニエンス・クラブ)の子会社がDMO戦略の一翼を担うとされた。これまでANAあきんど、JRR西日本、天満屋トラルから観光アドバイザーを受け入れ多額の予算を投入したが、良い結果は出ていない。観光課職員の毎年の異動や「ラ・フォーレ吹屋の営業終了問題」なども検証や反省も行われていない。観光庁が重視するKPI(重要業績評価指標)データ蓄積も行われておらず反対する。

宮田 好夫議員

上程された全ての議案に賛成する。議案第57号についてはマイナンバーの取り扱いや管理には細心の注意が必要である。議案第60号の補正予算の臨時特別給付金は対象者への迅速な給付をお願いする。

平松 久幸議員

全ての議案に賛成。議案第60号について、CCC(カルチュア・コンビニエンス・クラブ)から、観光DMOの再構築として人材2名を採用し取り組むとされた。今までANAあきんど、天満屋トラルが関わった2年間は何だったのか疑問に思う。改めてDMOの取り組みに注視したい。議案第61号の下水道事業「落合下水道管の改修事業」は、工事中の落合雨水ポンプ場の横であり、前回事務所の延長に当たる。推進工法は費用面や近隣住民への影響が最小限になるよう、よく調査してほしい。

議案第60号の一般会計補正予算に含まれている観光DMOは計画の策定、申請、認定、具体化とされるべきだが、計画策定がまま申請を行い、派遣人材が担われる逆の計画になっている。他にも国の制度活用が先行した計画が散見この計画は返上を含め見直しが必要と考える反対する。

請願については「教育は未来への先行投資」であり、未来を担う子どもたちに充実した教育予算の確保に採択を求めめる。

広瀬地区緊急避難施設建設工事請負契約については反対するものではないが、落札率が98.7%と高い結果があり注視すべきと考える。請願については、教育状況や学校現場の改善のため採択を求めめる。

管理職を補佐するポストの新設、学級担任の持ちコマ数を減らすことなどを求めている。高梁市議会として政府に意見書の提出を求めめる。

## 6月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

	石部	大月	宮田	川上博	倉野	川上修	小林	宮田好	石部	三村	石井	森	森上	伊藤	平松	新倉	金尾
議案第56号 専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号 令和6年度高梁市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号 少人数学級の拡充及び教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
乙議案第2号 川上修一議員に対する議員辞職勧告決議案について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりませんが、賛否が同数の場合は、議長が裁決します。※他の議案は全会一致で可決しました。

観光DMOとは

地域の「稼ぐ力」を高める「観光地域づくり」の司令塔「観光地域づくり」を進める国から認可を受けた法人。



# 議会 ニュース



## 高梁学校給食センター を視察

総務文教委員会は、4月26日に管内行政視察で高梁学校給食センターの視察を行いました。

昨年12月に高梁市立学校給食センター再編検討委員会から提言書が提出されており、その中には令和8年4月から高梁と川上の学校給食センターを統合することや民間委託の導入を実施することが盛り込まれていました。

総務文教委員会としては、現状と課題を正しく認識するために現場を視察し、職員から説明を受けました。センター

## 総務文教委員会で 鹿島市と唐津市を視察

総務文教委員会は、5月14日・15日に管外行政視察で佐賀県鹿島市と唐津市を訪問しました。

佐賀県鹿島市では、既存施設の改修無しで、給食の配送と調理部門を民間委託されています。

昭和55年から稼動する施設は経年劣化は否めませんでした。鍋などの器材を必要最低限に抑え、調理員の作業動線をしっかりと確保し、加えて委託業者の徹底した衛生管理が行われていました。

人事では、委託に伴い調理員は全員一般職に任用替えし、委託業者への転職者はゼロです。徹底した衛生管理と時間管理によって人件費の削減も可能となりました。

次にふるさと納税の全国でも上位の寄附額および寄附件数を積み上げられている唐津

の統合と並行して、市内小中学校の再編の動きがあるため、今後現場を中心に検討を十分に重ね、進められることを要望しました。



高梁学校給食センター

市では、自治体間の競争も激化傾向にある中、中間業者の市内での内製化を図るとともに、地域商材に精通した職員を育成することが、高梁市のふるさと納税寄附額の積み上げにも必須の課題だと強く認識したところです。



鹿島市の学校給食センター

唐津市役所ロビーにて



## 川上畑地かんがい施設 と弥高山公園などを視察

産業経済委員会では、5月1日に川上畑地かんがい施設、弥高山公園および旧高山小学校の視察を行いました。

川上地域局で農林課の職員から、畑地かんがい事業について経緯と経過、現在抱える問題点の説明を受けて、今後の事業継続に向けた取り組みの基本方針と具体的手法について意見交換を行いました。その後、本谷揚水機場、大竹ダム、高山浄水場を視察しました。受益者の減少、受益地の耕作放棄地化など、社会情勢の変化に伴う厳しい運営状況、また近年の電気代の高騰などですます厳しい運営を強いられています。農業振興において不可欠の施設であることを確認しました。

次に弥高山公園ですが、視察で感じたのは17ヘクタールもある広大な施設がよく管理されていたことであり、ツツジが

## 産業経済委員会で 飛騨市と日進市を視察

産業経済委員会では5月13日・14日に岐阜県飛騨市と愛知県日進市で管外行政視察を行いました。地元食材の魅力発信に取り組み飛騨市では、黒毛経産牛（子牛を生む役目を終えた母牛）を飛米牛の名前で販売しています。安定した肉質と味わい深い赤身が特徴であり、東京の銀座や麻布の料亭、ヨーロッパに輸出するほか、ふるさと納税返礼品としても利用され評価を得ています。また、市内の農家と飲食

店をつなぐ「飛騨市まるごと

順次咲き乱れる時節でもあり素晴らしい光景でした。「コロナ禍の中でキャンプ場利用者などの落ち込みはあったものの、近年のアウトドア志向で以前からの利用者数に回復基調にあるとのことですが、施設の老朽化が進んでおり、特にトイレの水洗化は必要です。



大竹ダム



旧高山小学校

食堂」も実施しています。

日進市では、子育て中の女性を対象に「ショートタイムワーク」を推進しています。市内にある建設業者が協力し、現在は3名がリモート勤務しています。遠距離や短時間勤務でもコミュニケーションの取れる環境を整え、関係性を構築することができれば、有益な働き方として活用できるということを実感しました。



飛騨市の公設産直ショップ

「議会だより第58号」2ページ、緑色の枠内「シティプロモーション推進事業」の説明文において、予算額を「約1400万円」としてありますが、こちらは誤りです。正しくは「約140万円」です。訂正して、お詫び申し上げます。

# ここを聞きました!

6/4



代表質問 新風の会  
森上昌生

「今年のGWを中心に本市における観光について」  
「市長の過去の答弁のその後について」



新倉 淳

「こども誰でも通園制度について」  
「高等学校魅力化推進プロジェクトチームについて」  
「多面的機能支払交付金について」



石部 誠

「ラ・フォーレ吹屋について」  
「介護保険制度について」



倉野嗣雄

「災害時の対応について」  
「町内会支援について」



石井聡美

「学校給食センターについて」  
「市職員の働き方について」  
「リスキリング支援について」



金尾恭士

「人口減少対策について」  
「職員の育成について」  
「観光施策について」  
「公共交通について」  
「農業施策について」



平松久幸

「公共交通（地方路線バス運行）について」  
「伯備線新型やくもについて」  
「地域おこし協力隊について」  
「中学生の風紀について」



伊藤泰樹

「住宅リフォーム事業費補助金について」  
「工事契約について」  
「学校園の適正配置について」  
「ふるさと納税について」  
「公共施設再配置方針について」



宮田好夫

「地域コミュニティについて」



川上博司

「防災対策について」  
「ごみ出し支援について」  
「書かない窓口の推進について」



小林重樹

「山田方谷頭彰の取組について」  
「人口減対策について」  
「行財政改革への取組について」



森 和之

「伯備線沿線の環境整備について」  
「森林環境譲与税の活用について」  
「職員の採用について」  
「市街地の町並み整備について」



副議長  
大月健一

改選が間近であり、副議長としての任期は短いのですが、議員として最後の奉公だと思っています。石田議長を支え、議会のまとめ役として副議長の役割を果たす所存でございます。議会および市民の皆さま、よろしくお願いたします。

宮田好夫副議長の辞任により、5月17日に開かれた高梁市議会臨時会において副議長選挙が行われ、大月健一議員が選出されました。

大月健一議員が  
新副議長に就任

6/5



石部 誠

「ラ・フォーレ吹屋について」  
「介護保険制度について」



倉野嗣雄

「災害時の対応について」  
「町内会支援について」



石井聡美

「学校給食センターについて」  
「市職員の働き方について」  
「リスキリング支援について」



金尾恭士

「人口減少対策について」  
「職員の育成について」  
「観光施策について」  
「公共交通について」  
「農業施策について」



平松久幸

「公共交通（地方路線バス運行）について」  
「伯備線新型やくもについて」  
「地域おこし協力隊について」  
「中学生の風紀について」



伊藤泰樹

「住宅リフォーム事業費補助金について」  
「工事契約について」  
「学校園の適正配置について」  
「ふるさと納税について」  
「公共施設再配置方針について」



宮田好夫

「地域コミュニティについて」



川上博司

「防災対策について」  
「ごみ出し支援について」  
「書かない窓口の推進について」



小林重樹

「山田方谷頭彰の取組について」  
「人口減対策について」  
「行財政改革への取組について」



森 和之

「伯備線沿線の環境整備について」  
「森林環境譲与税の活用について」  
「職員の採用について」  
「市街地の町並み整備について」

令和6年3月定例会の一般質問において、森上議員の「飼い主のいない野良猫の責任は誰が持つのか」といった主旨の質問に、市民生活部長は「飼い主のいない猫がいる地域の方がどのように対応するかというお考えのもとで検討していただく」との答弁でした。その後の森議員の「TNRに限りませんけど、野良猫対策を本当に前向きに進めるのかどうか」との質問に対して市長は「ふる

執行部からの答弁内容の  
不一致について

宮田好夫委員長の辞任により、「議会運営委員会」「議会のあり方検討特別委員会」の委員長については、互選が行われ、川上博司議員が両委員会の委員長に選出されました。

川上博司議員を2つの  
委員会の新委員長に選出

さと納税制度を使うとかといったことも一つの手法なのではないか」との答弁でした。  
これは明らかに市長と部長の答弁に齟齬があると言えます。このことについて、議長から執行部に答弁の真意を確認したところ、「動物愛護や環境保全といった視点も含めた大きな観点をもって今後考えていかなければならないという点で一致しており、答弁に大きな差異はない」との回答がありました。しかし答弁違いの説明としては全く論をなさず、説明責任を果たしていないという意見もありました。

庄原市議会から  
議員視察に6名が来高

6月19日、高梁市議会が編集発行している「高梁市議会だより」について、広島県庄原市議会議会広報委員会より6名の視察があり、石田議長および高梁市議会広報公聴特



委員会室での視察受け入れの様子

別委員会の3名が対応しました。庄原市議会議会広報委員会からは「編集の過程」「掲載内容」「市民に向けた情報発信」について質問があり、高梁市の議会だよりは8名の委員会メンバーが担当して編集していること、読みやすさを第一に考え、一般質問をする議員の写真を大きくしたり、議員のイラストを挿入するなど工夫していることを報告しました。今後も情報交換しながらお互いの議会だよりの充実をはかっていくことを確認して視察は終了しました。

高梁市議会  
YouTube公式チャンネル 配信中!

高梁市議会 Youtube チャンネルで、過去の一般質問を見ることができます。



# 過去の答弁、その後について

令和2年3月議会の答弁

**森上** 現市長の施策に批判を持つ市民に「その方が全て批判的ということであれば、この高梁にお住まいになるということがどうなのかという話にもなりますね」との発言があったが、この考え方は変わらないか。

**市長** 基本的には理解をいただくように努めると申しあげた。

**森上** 最初の質問に、批判的な方は高梁市に住むことがどうなのか、高梁から出ていかれたらというような、発言だった。高梁に住むことがどうなのかという発言。これは本当にとんでもない発言だ。

**市長** 今議員が言ったような言葉を言っていないので、議事録を見ていただいても結構だ。全部の施策にというのがあったと思う。



森上 昌生 議員

**森上** 全てに批判的になるという表現は事実です。全部市長の考え方に反対したからといって高梁から出ていく必要があるのか。

**市長** そういう言葉は使っていない。

**森上** 「高梁市へお住まいになる」とかどうなのか」というのは、出ていけよということの同義語ではないか。

**市長** 議員が言った言葉として理解する。そういう言葉を言っていない。批判を一つでも解消し、住み続けていただきたい。

**森上** 説明をされても納得しないという人は、結局は出ていかなきゃならないのか。

**市長** 議員がそういう言葉を使うが、そういう気持ちでない。

**森上** これ以上は水掛け論だ。

# 新型やくもで

## 沿線自治体と連携を!!

公共交通（地方路線バス運行）について

**平松** 学校再編（松原小学校から高梁小学校）に伴い、高学年、低学年それぞれの下校時間に合わせ、既存の路線バスの時刻表の見直しはするのか。

**教育長** 準備委員会などで、既存の時刻表で決定しているが、要望も出ている。考えていきたい。

**平松** 宇治小学校は成羽小学校へスクールバスで登下校する際、市民は利用できるのか。

**教育長** スクールバスの規則では、混乗、市民も乗ることはできる。今後も公共交通会議などで議論される。



平松 久幸 議員

伯備線新型やくもについて

**平松** 4月から特急やくも号が新型車両で運行を開始したが、乗降客は増えたのか。

**市長** 岡山から新見駅間の特急利用者数はゴールデンウィーク期間（4月26日～5月6日）対前年比15%増の4万7100名であった。備中高梁駅の乗降者数も増えている。

**平松** 新型やくもを生かした取り組みはできないか。

**市長** 岡山から出雲まで沿線自治体での連携は非常に大切である。山陰と山陽側で一緒にできることを検討する必要がある。米子

市長、松江市長とも連絡を取り合い、しっかりと内容を詰めていきたい。

# 通常の管理や施業で 多面的機能支払交付金を

多面的機能支払交付金について

**新倉** 「中山間地域等直接支払交付金を取り組んでいるみなさん！」のチラシに書かれた多面的機能支払交付金広域協定について内容の説明を願う。

**副市長** 多面的機能支払交付金は中山間の交付金に比べて安い割に事務が煩雑であり、細かな報告まで求める事がある。そのため、なかなか取り組みにくいのが実情であらうかと思う。煩雑な事務を少しでも市の方が支援するので、全的に取り組んでいこうという

が今回のチラシの案内である。中山間の6期目が令和7年より始まる。

多面的機能支払交付金も同時にスタートすれば取り組みやすいのかと考える。市で事務の取り扱いを共同するという事が広域化。それには当然事務人件費がかかるので、交付金のいくらかは事務手数料として徴収させてもらうという形で、現在検討している。

**新倉** 農産物を作るために当たり前の作業をして交付金が出れば、所得の引き上げにもなり、一部事務負担金が必要でも大いに活用すべきである。



新倉 淳 議員

# 市立小中学校の制服・体操服等は 将来の負担を考え統一すべき

住宅リフォーム事業費補助金について

**伊藤** あまりにも短期間で受付を終了しており、早々に追加補正を検討するべきではないか。

**市長** 財源確保の目的が立ち次第、9月補正予算に計上したいという思いを持っている。

工事契約について

**伊藤** 契約の締結状況の見える化とは何なのか。

**市長** 誰にでも分かりやすくだろうと私は理解する。行政用語を控え、誰でもが分かりやすい表記の仕方に、できることから直ちに取り組んでいく。

学校園の適正配置について

**伊藤** 廃校になった小・中学校の



伊藤 泰樹 議員

校歌の音声データを市ホームページで聴けるようにできないか。  
**教育次長** 掲載できるように検討し、対応していきたい。

ふるさと納税について

**伊藤** 外部委託事業を内製化するべきではないか。

**政策監** 研究していきたい。  
**伊藤** 職員の資質向上のため、先進地を視察され取り入れてほしい。

公共施設再配置方針について

**伊藤** 市民にしっかりと説明し、市民の声を受け止めながら前に進めるべきではないか。

**市長** 不転の決意で取り組ませていただく。また新たな財源の確保にも努める。

ラ・フォーレ吹屋の指定管理者が1年で撤退!? なぜか



ラ・フォーレ吹屋について

石部 指定管理（5年）を担った下電ホテルがわずか1年で撤退。吹屋のブランドイメージの低下や、市民の税金を投入した事業であり、現状および原因と責任をはっきりさせ教訓を導き出すべき。



介護保険料について

をいただいたが、想定しきれていない部分があった。地域との関わりも十分でなかったと反省している。

石部 誠 議員



産業経済部長 指定管理者が、事業譲渡により旅館業の許認可がなくなり、指定管理を継続できない状況。指定管理者は公募され審査会で選ばれた。全体的な計画が整い運営方針も表明はされていた。しかし債務超過で経営状態が悪化し、設備投資もできない状況になり、このような結果となった。選定審議会で選ばれ議会で議決

健康福祉部長 介護保険サービスの需要は増加している。課題は介護職員の人材不足やサービスの質の確保と均質化であり、介護職確保のための事業所支援や、介護職のスキルアップ講座の開催を行っている。介護保険料は県平均より若干高いが、基金を取り崩して据え置いている。介護サービスの地域差が生じないよう独自の制度を展開していきたい。

公共交通利用促進 キャンペーンを行うべき



公共交通について

宮田 公共交通利用促進キャンペーンをする必要があると思うがどうか。

市民生活部長 先行事例では効果が出ているので検討する。

宮田 他市で取り組まれているような運賃最大200円キャンペーンや無料DAYを設定してみたらどうか。

市長 岡山市が昨年行った事例では利用が増えたと聞く。実施に当たって財源や乗務員などの課題はあるが運行事業者と協議していきたい。

宮田 次の公共交通計画をどう策

宮田 好夫 議員



定しているのか。

市民生活部長 現計画での利用状況や経費、タクシー助成など総合的に検証し、秋ごろ公共交通会議で協議する予定である。

宮田 市はライドシェアについてどう考えているのか。

市長 全体計画を考える中で、必要かどうかを検討していく。

ライドシェアとは

地域交通の「担い手」「移動の足」不足解消のため、自家用車・一般ドライバーを活用した運送サービスの提供を可能とする自家用車活用事業。



災害時における市の対応について



災害時の対応について

倉野 4月16日の夕方、市内北東部の雹による災害について、本市の考えと支援策を問う。

市長 農業者支援は必要。ブドウは本市の主要作物であり、予備費での対応を考えている。建物については、見舞金の基準に当たらない。しかし被災があったのは事実であり、現地で確認も行っている。

倉野 私は天災であると思うが、何か支援はできないか。

市長 リフォーム補助金同等の支援策を検討する。対応に向け今少し時間が欲しい。

倉野 嗣雄 議員



町内会支援について

倉野 市内における限界集落の現在の数と市の対策を問う。

市民生活部長 市内の大字単位で102集落中46がこの概念に当てはまる。町内会の維持・活動支援としてマンパワー不足に対応すべく、令和6年度より町内会が市外在住者と活動に取り組み際の、助成金制度も設けている。今後、他の自治体も参考に対策を考える。



大きな固まりの電池

限界集落とは 人口の5割以上が65歳以上の集落。社会的共同生活の維持が限界に近づきつつある集落として学者が提唱した概念。

ごみ出しが困難な世帯の戸別回収を



携帯トイレの備蓄の現状と今後について

川上 能登半島地震では仮設トイレの目標（50人に1基）達成まで10日程度かかっており、初期対応に「携帯トイレ」「簡易トイレ」などを一定量備蓄・配備しておくことが重要である。能登半島地震での教訓を踏まえ、今後の災害に備えて、想定される最大避難者数などを基に、「携帯トイレ」の備蓄計画の見直しと同時に必要数を調達すべきだが、必要数に対する備蓄の現状と今後の方針について問う。

政策監 高梁市では組み立て式の簡易トイレは155基準備しており計画目標値には達している。しかし、便器にかぶせて使う排便収



ごみ出し支援について

納袋については1005袋であり計画目標値に全然達していないので、令和6年度に追加購入を予定している。

川上 障害や高齢などの理由でごみ出しが困難な世帯を対象に可燃ごみの戸別回収を実施すべきではないか。

市長 環境部門と福祉部門が連携して、ごみ出し困難世帯の基準や戸別回収の方法など他の自治体の取り組みを参考に、早急に実施に向けて進めていきたい。

川上 博司 議員



携帯トイレ

### 学校給食センターで 学童やお年寄りへの配食を

学校給食センターの  
多目的利用について

石井 学校給食センターに学童保育への給食提供や高齢者の配食サービスなどの機能を持たせることはできないか。

教育次長 調理場が稼働していない時間を利用して、学童へ給食を提供すること自体は可能だと考える。ただ、各学童への提供方法や費用負担の在り方について検討が必要である。

ゴミ搬入やパスポートの  
受け取りを休日

石井 平日が仕事の人が利用しづらいゴミの搬入や、パスポートの受け取りなどを休日にも提供すべきではないか。

総務部長 クリーンセンターについては、担当課にもそういう要望が届いている。吉備中央町と合同の事務組合なので、協議して可能性を探っていきたい。パスポートは県のトラブル対応窓口が閉まっていることなどから、現在は平日の昼間に交付している。

石井 聡美 議員



### 市長、出馬表明されたら いかがですか

行財政改革への  
取り組みについて

小林 行財政改革プランの取り組みは令和6年から令和10年まで5年間にわたって続く。この5年間の舵取りをどのように考えているのか。また吉備中央町の山本町長がデジタル田園都市推進事業の中で高梁市と協力をしながら進めていきたいと言われていることについて具体的に説明を願う。

市長 高梁市にはお産のできる施設はなく、県では産婦人科について集約化の方向性とのことだ。そうしたことを見据えたときに、吉備中央町が進めているデジタル田園健康特区によって岡山大学病院との連携というのは大きな強みになる。救命救急の問題や少子化対策にも関わるお産のできる環境つ

小林 重樹 議員



### 約1年での営業放棄 日和見的な観光施策の末路

ラ・フォーレ吹屋の  
指定管理について

金尾 ラ・フォーレ吹屋の指定管理について、憤りを通り越して怒りを感じている。指定管理者である下電ホテルおよびブィー・シー・シーは、当初からトラブルを抱えていたように思えたが。

産業経済部長 地域の方も残念な思いをされている。新たな指定管理に取り組んでいきたい。

金尾 約1年での営業放棄。違約金が発生すると考えるが、損害賠償請求は考えないのか。

産業経済部長 現状の指定管理協定書には賠償請求の記載がない。金尾 疑義があった場合、協議すると書かれている。協定書第3条第2項に「地域の活性化・産業振興に資する」とあるが、地元吹屋地区の皆さんへ市として何らかのアクションを行うのか。

金尾 恭士 議員



### 鉄道撮影者の聖地を目指して

伯備線沿線の  
環境整備について

森 鉄道撮影者から、写り込む支障木や法面の下草などを刈り込めないかとの声があるがどうか。

市長 鉄道用地内にある支障木の伐採は難しいのだが、周囲の環境を守るという観点からJRと協力を重ねていきたい。

森 5月25日に齊藤鉄夫国土交通大臣が川面町「TEAMひとせ」の取り組みを視察したと聞いている。市長として大臣へは何を伝えたいのか。

市長 高梁川第二橋梁を望む場所から視察を行った際に、平成30年7月豪雨災害での川面地域における被害状況を伝えた。また備中川面駅のトイレについても話をさせてもらった。災害復旧については改めて時間をとるので話に来て

森 和之 議員



市街地の  
町並み整備について

森 高梁市歴史的町並み保存地区において町並みに配慮した溝蓋の設置は考えられないか。

土木部長 景観に配慮した側溝蓋もあるのですが、整備可能な場所についてはその案件ごとに個別に検討していきたい。

森 道路沿いの支障木の伐採に森林環境譲与税は使えないのか。

産業経済部長 伐採については道路管理者が行うもので、森林環境譲与税は使用できない。